

清須市 子ども・子育て支援事業計画策定のための
グループヒアリング及びワークショップ実施報告書

1 グループヒアリング及びワークショップの実施概要

①グループヒアリング及びワークショップ実施の目的

平成 27 年度からスタートする「清須市子ども・子育て支援事業計画」策定のため、子育て当事者の親及び子育て支援者に対し、グループヒアリング及びワークショップを実施し、家庭や身近な地域での子育ての状況や現在の子育てに関する問題や課題、今後の行政への要望などの意見を把握し、計画策定のための基礎資料とすることを目的としました。

②実施対象者

○グループヒアリング

子育て当事者：母子通園施設たんぽぽ園に通園している子どもの保護者

子育て支援者：保育サポート「えぷろん」 子育て新川サポート「タイム」

ファミリー・サポート・センター

○ワークショップ

各地区の子育て支援センター及び児童館・児童センターを利用している親とその保護者

(清洲子育て支援センター、新川子育て支援センター、春日子育て支援センター、西枇杷島児童館、小田井児童館、星の宮児童センター)

③実施日時

○グループヒアリング

子育て当事者：平成 25 年 11 月 14 日 (12 : 00～)

子育て支援者：平成 25 年 11 月 29 日 (9 : 00～)

○ワークショップ

平成 25 年 11 月 14 日 (10 : 00～)

④実施方法

○グループヒアリング

事前にヒアリング調査票を配布し、事前に記入をしていただき、回答に基づき、直接ヒアリングを実施

○ワークショップ

各地区の子育て支援センター及び児童館・児童センターに別れ、付箋等を使用し、グループワーキングを実施

2 グループヒアリング及びワークショップの実施結果

①グループヒアリングの結果と課題

～母子通園施設 たんぽぽ園～

○清須市で子育てをされていて良かったこと、困ったことは何ですか。

- ・母子通園施設（たんぽぽ園）があったのは良かった。
- ・保育園に入園する前にたんぽぽ園で集団に慣れさせることができた。
- ・保健師が親身になって相談にのってくれるので、心強い。市役所での対応も良い。
- ・障がい児に対するシステム（たんぽぽ園経由でないと、保育園に行けないなど）を構築して欲しい。
- ・児童館や子育て支援センターなど、子どもをつれて親子で参加できる施設を増やして欲しい。
- ・診断名がついてしまったために、公立保育園の入園が困難になってしまった。

○子育て支援サービスを利用する上で支障となることは何ですか。

- ・たんぽぽ園は母子通園なので、仕事との両立などが難しい。
- ・どのようなサービスが、どのような時に受けられるのか分かりやすくして欲しい。
- ・サービスを必要とする人にとっては、手続きが複雑で、利用するのが難しい。
- ・私用でのファミサポや一時預かりを利用しやすい体制にして欲しい。
- ・市の各部署の連携が取れていないように感じる。もう少し情報の共有をしてほしい。

○子どもが地域で安心して過ごすうえで問題とを感じることは何ですか。

- ・地域で子どもの友達がつくりにくい。知ってもらう機会が少ない。
- ・近所の人とあまり交流が少ない。交流できる場があまりない。
- ・小学校や中学校などの障がい児への対応が不安である。
- ・普通学級の子どもたちと普通に生活できたらいいと思う。
- ・近くに遊べる公園がなく、遊具も少ない。
- ・夜の道が暗い。道路の整備がされていない場所が多い。道幅が狭い。

○子どものためにどんな支援があるといいですか。

- ・放課後児童サービスや休日の支援サービスのまとまったガイドがあると良い。
- ・子育てコンシェルジュのように、子どもの成長に応じた相談を聞いてくれたり、今後の対応などを話せる人がいると良い。
- ・親が病気や緊急時などにすぐに支援してくれるサービスがあると良い。
- ・子どもを無料で少しの時間でも、見ていてくれる場所が増えると良い。
- ・健常児、障がい児と一緒に集団生活を送れる体制をつくってほしい。
- ・たんぽぽ園と地元の保育園同士の交流を深め、壁をなくしてほしい。

○仕事と子育ての両立についての考えや問題点は何ですか。また、父親（夫）が子育てに参加するにはどうしたら良いですか。

- ・話し合いなどをして、父親に子育てに参加してもらうことが必要だと感じてもらう。
- ・子どもの日常生活の困りごとを家族で共通理解できる機会（コミュニケーション）が増えればよい。
- ・子どもと父親の関わりあう行事が増えると良い。
- ・核家族の中で、父親の子育て参加は難しい。社会全体の問題ではないかと思う。
- ・父親が療育に参加しやすいように、父親療育日（週間）などを設定してもらえると嬉しい。
- ・出産前の母親教室だけでなく、出産後（特に1～2歳）の時に父親が主の「子育て教室」を開催して欲しい。
- ・小学校のうちから家の手伝いをさせるなど、早期教育が必要。

○その他、子育て支援についてのご意見を教えてください。

- ・地域の人との交流する機会が欲しい。
- ・たんぽぽ園の子が、保育園や幼稚園に入園することが難しい。全体的にみて積極的に受入れてもらえないような気がする。
- ・母親だけの相談の時間があつたらいいと思う。
- ・夫婦二人での子育てという点での事業が少ない。



グループヒアリングから見える課題

- 清須市では、子育て等に関する施策や事業等を実施していますが、当事者である保護者は、どのようなサービスがあるのか、またどのような時に受けることができるのかがわからないという意見がありました。サービスが必要な人が、必要な時に受けることができるよう、情報提供の方法を検討していくことが必要であると考えます。その一例として、支援サービスが一冊にまとまったガイドブックなどがあると良いという意見がありました。
- 心配ごとや支援サービスに対する相談に対し、『子育てコンシェルジュ』などを配置し、子どもの成長に応じ、相談に対応をしてくれる体制を整えていくことが求められています。
- 地域の子どもや近所の人たちとの交流が少ないという意見があがっています。また、普通学級の子どもたちと普通に生活をさせたいという意見もあります。地域の人との交流の場や機会を提供していくことが必要であると考えられます。
- 子育てをしてく中で、家族、特に父親の理解と協力が重要であるという意見がでてきます。父親が療育に参加しやすいよう、「父親育児の日」の設定や、父親に対する「子育て教室」の開催など、家族の理解と協力とともに、企業や社会への理解の促進を深めていくことが必要であると考えられます。

～保育サポート 「えぷろん」～

○現在の活動上の良い点は何ですか。

- ・時間以外に、相手のニーズに合わせることができる。
- ・依頼者の希望に沿った支援ができています（細かな打合せ・柔軟な対応）。
- ・自分の予定を優先することができる。
- ・子どもの成長を親と一緒に見守ることができる。
- ・今後のサポートの方法をお互いに考えることができる。話をすることによって不安が和らぐ。
- ・保育サポートだけでなく、講演会や人形劇、料理をしたり、子育て世代の皆さんに貢献ができ、一緒に楽しめる時間がある。
- ・緊急なときでも、柔軟に対応ができる。

○また、現在の活動上の困った点は何ですか。

- ・スタッフが足りず断るとき。対応ができないときがある。
- ・サポート時間（保育料設定有）以外の活動が多くなると、負担に思う。
- ・夕方の時間にサポートが集中することが多い。
- ・子どものサポートではなく、親のサポートをすることもある。

○子育て支援者からみて、最近の清須市の親と子どもについて感じることは何ですか。

- ・割り切って子育てをしている人もいる。
- ・子育てに対して、学習している親としていない親の差がみられる。
- ・高齢者ボランティア活動の参加。地域で異世代交流がある。
- ・送迎が無理でも、子どもに習い事をさせたい親が増えている。
- ・自分ができること以上をしようとする親が増えている。
- ・疲れている親、子どもが多い。
- ・親同士がうまく付き合えてない。叱れない親、子どもと遊べない親が増えている。
- ・支援が充実し、最近の子育て世代の人は恵まれている。

○子育て支援者からみて、清須市民の子育て世代が困っていることは何ですか。

- ・自分から外に出ることのできない親もおり、支援者側から出向いていく必要がある。
- ・子育てに対して、どこに相談をすればよいかかわからず、迷っている親が多い。
- ・保育園の統廃合（近くの保育園に入れない）。
- ・親族への協力が得られない人が多い。
- ・病中、病後のサポートが可能な施設がない。病院との連携ができていないのでは。
- ・4年生から預かってもらえる施設がないので働くお母さんは困っている。

○子育て世代が行政に対して求めている子育て支援サービスは何ですか。

- ・行政の立場での、一時預かりの場所（部屋）。
- ・障がい者のデイサービス等の事業所が欲しい。
- ・病院と連携があり、病気の子どもを預けられる託児所などが働く親にとって必要。
- ・託児ルームなど、その場へ行けば一時預かりをしてくれる場所。
- ・夏場が暑いので、冷房等の設備が必要。

○現在行っている活動の今後の見通し・抱負を教えてください。

- ・保育サポート。
- ・親と対話ができるよう関わっていきたい。今まで関わってきた保護者の方と意見交換がしてみたい。
- ・障がいを伴うサポートは、長期的なサポートが多く、担当した子が小学校を卒業するまでは、責任を持ってサポートしていきたい。
- ・サポートを親と一緒に考えたい。
- ・依頼者に「頼んでよかった」と感じていただければと思う。

○その他、子育て支援についてのご意見を教えてください。

- ・支援者の学習の場、講習の場が必要である。
- ・時間を決められてしまうと、困っている人がいると思う。
- ・親ができないことをサポートするのであって、基本は親がやることを忘れないで欲しい。
- ・広いグラウンドがない。



グループヒアリングから見える課題

- 現在は、割り切って子育てをしている保護者が増えており、子育てに対して学習している親とそうでない親の格差が見られるという意見があがっています。また、自分が出来ること以上のことをしようとしてしまう親や、疲れている親、外にでない親など、子育てにおいてさまざまな問題や不安を抱えている親が増えていることがうかがえます。今後は、これらの保護者に対しての支援や、保護者との意見交換を行っていくことが必要と考えられます。
- 子育ては、基本的には親が行うことであり、親ができないことをサポートすることが重要であると考えています。依頼者が安心して預けることができるよう、支援者側の学習や講習の場が求められています。

～子育て新川サポート 「タイム」～

○現在の活動上の良い点は何ですか。

- ・互いに信頼関係ができる。
- ・感謝をしてもらうこと。

○また、現在の活動上の困った点は何ですか。

- ・活動者が困難な事例を相談できる場所がない。
- ・話し合いはあるが、助言が欲しい時がある。
- ・親から相談されても、どこまで答えればいいのか悩む時がある。
- ・後継者づくりが難しい。
- ・行政担当者との連携・協力・サポートが得られやすいようにして欲しい。

○子育て支援者からみて、最近の清須市の親と子どもについて感じることは何ですか。

- ・親によって差を感じる。アパートが多く、核家族なども多い。
- ・働きながら、子どもとよく接している。
- ・子育てはその親を「親」として育てていけるような周囲のサポートが必要。

○子育て支援者からみて、清須市民の子育て世代が困っていることは何ですか。

- ・子育て世代の人の学習の場が少ない。
- ・交流も一部の人に限られている。
- ・子どもを育てるより、働く方を優先する方が多い。
- ・どのように子育てをしていけば良いか不安な方も増えている。
- ・親が積極的に外に出ない限り、孤立化してしまう。

○子育て世代が行政に対して求めている子育て支援サービスは何ですか。

- ・子どもの将来を見据え考えてほしい。
- ・平日休日、時間帯を問わず受けられる支援。
- ・本当に困っている人に届くサービス。
- ・行事がいろいろあるが、家から遠かったりして参加できないときがある。

○現在行っている活動の今後の見通し・抱負を教えてください。

- ・親と子の「困った」に耳を傾けていきたい。
- ・家に引きこもっている人の誘いに力を入れていきたい。

○その他、子育て支援についてのご意見を教えてください。

- ・地域の先輩ママの活力を活かしていく必要がある。先輩ママの役割が重要である。
- ・生まれてから、小・中学校までの継続した支援が必要。
- ・子育てに悩んでいる人やストレスを感じている人がいる。発散できる場所、本音で話しあえる場所があるといい。
- ・ネット会議について、有意義な会議にしたい。
- ・行政間との連携（情報の共有、決め細やかな子育て支援、家庭教育支援）。



グループヒアリングから見える課題

- 交流を図っている親が限られていることや地域や外にでない親が増えていること、子育てに対して不安を抱えている親が増えてきている現状があります。これらの親に対して、行政や地域と連携を図るとともに、地域の先輩ママの活力を活かした地域での子育て支援を促進していくことが考えられます。
- 親によって差が見られること、また支援側の後継者づくりが困難であるという意見があがっていることから、先輩ママの活力を活かし、子育て支援者を育てていくとともに、これらの人が親育てを行っていくことが重要であると考えられます。

～ファミリー・サポート・センター～

○現在の活動上の良い点は何ですか。

- ・センターが適切なアドバイスをしてくれて、安心して活動ができる。
- ・提供会員意見交流会に出席して、他の人の話を聴くことができる。
- ・依頼会員から、直接感謝をいただける。
- ・いろいろな親や子との出会い。
- ・子育ての経験を活かし、支援ができる。
- ・市と連携が取れているので、安心して活動ができる。

○また、現在の活動上の困った点は何ですか。

- ・臨機応変に対応できない能力不足を感じる。(自分自身の体力の低下)
- ・若い人が提供会員になって、ファミサポを盛り上げて欲しい。
- ・個性が違う子どもを預かるときに大変さを感じる。
- ・手続き上の問題。(相互援助活動報告書の作成ができないなど)

○子育て支援者からみて、最近の清須市の親と子どもについて感じることは何ですか。

- ・仕事と子育ての両立を図っている親が多い。
- ・昔の人が言ったことに耳を傾けて欲しい。
- ・子どもの成長を喜びながら遊ぶことが大切である。
- ・情報が多いが、まとまっていないような気がする。
- ・ファミサポなどに預ける親は、まかせっきりとなってしまうことがある。
- ・親への教育が必要である。

○子育て支援者からみて、清須市民の子育て世代が困っていることは何ですか。

- ・安心して子育てができるためのヒント。
- ・些細な事でも安心して話せる環境が欲しい。
- ・子どもの急病のときに預けられる場所が欲しい。

○子育て世代が行政に対して求めている子育て支援サービスは何ですか。

- ・気軽に子どもを預けられる場。
- ・男性の提供会員は少ないため、広報・啓発を増やして欲しい。
- ・親子で一緒に楽しめる場所、子育てについていろいろ学べる機会が欲しい。
- ・預かりを遅い時刻までできるようにする。
- ・グループに入れない親がいること。

○その他、子育て支援についてのご意見を教えてください。

- ・相談場所がわからない親が多く、母子手帳を渡す時に、相談窓口の一覧表などを渡すなどの工夫が必要である。
- ・報酬額について（兄弟等を援助した場合、2人目からは半額となる点が…。）
- ・預かりにとどまらず、心に栄養を与えられるような支援をしたい。
- ・子どもを一人ではなく、複数の会員で見ることができればいい。
- ・子育てに関する全ての情報をいかに多くの人に届けることができるかが一番大切。どこで相談をしたらよいかを発信していかなければ、本当に困っている人を援助することはできない。
- ・ファミサポで預かることができないとき、それに代わる場所がもっとあればいい。
- ・ベテランの親が地域に戻ってサロンを立ち上げることなどを行っていく必要がある。親が自由に出入りできる場所が必要である。



グループヒアリングから見える課題

- 提供会員の臨機応変な対応ができないことがあること、また男性の会員が少ないことなどの課題があります。若い人や男性の提供会員の参加を募るとともに、提供会員が適切に対応できるよう、学習の機会を設けることが必要であると考えられます。
- 子どもを預ける親は、子育てを任せっきりになってしまう傾向があるという意見があります。そのため、親に対する「親育ち」の教育が必要であると考えます。
- 支援を行っている中で、保護者からは、気軽に預けることのできる場が求められていることがわかりました。今後は、親が自由に出入りすることのできるような、地域でのサロンのような場所や機会を設けていくことが必要であると考えられます。

要 望

○健診など病院

健診のお知らせをその都度してほしい。子どもも社会の一員と感
じる。

お知らせが広報
だけではわかり
にくい。

母子手帳が使いにくい
と聞いた。
かわいくして欲しい。

あおぞらこどもクリ
ニックのような子ど
もの病院を増やして
欲しい。

- ・産婦人科・幼稚園不足
- ・駅、道、バリアフリー、エレベーターなどの
環境がいまいる。反対側にも改札をつくつ
て欲しい。
- ・はぐみんカードの効果が気になる。
- ・きらきらひろはの質（トイレトベーパー
の芯を使った製作は不衛生）

○園について

兄弟で同じ保育園（希望の
園）に通えるといいと思いま
す。

保育園の耐
震化が気にな
る。

家から近いところに保
育園があると良い

○支援センターについて

支援センターの電池切れのおもちゃ、マジックテ
ープがはがれた野菜のおもちゃがある。

～清洲子育て支援センター～

子育ての実感

子どもの成長をずっと
見ていられるのは楽し
いです。

子どもと一緒に遊んでいる時
は楽しい。
子どもが2人できやーきやー
言いながら走り回っている時
は幸せに感じる。

3歳になって会話がで
きてきたのが楽しい。

2人同時に寝ることがないので
休憩できない。
家事も進まない。

新川子育て支援センター

支援センターを利用して
その他、感想

1人じゃな
いのでさみ
しくない。

少しずついろんなことが
できるので、成長にびっく
り。

毎日遊べて
楽しい。

会話がで
きるよう
になっ
てうれ
しい。

子ども
とい
たら
はし
や
げ
る。

家で遊
ぶよ
り
楽
が
で
き
る。

近所
で友
達
が
で
き
る。

悩み事

野菜を食
べ
て
く
れ
な
い。

すぐた
た
く。

魔の2
歳
児

園やサービスの要望

予防接種
や不
妊治
療の
助成
を増
や
し
て
欲
し
い。

一時預
かり
の人
数の
枠を
増
や
し
て
ほ
し
い。
(核
家
族
で)
頼
れ
る
人
が
少
な
い
と
思
う。

・幼稚園を私
立で
つく
っ
て
欲
し
い。
・駐
車
場
が
少
な
い。

産後
へ
ル
パ
ー
の
活
用
と
宣
伝
が
必
要
。

年
齢
関
係
な
い
交
流
会
を
開
い
て
欲
し
い。

毎
日
支
援
セ
ン
タ
ー
が
や
っ
て
い
る
と
助
か
る。

新・旧
で建
物
の
違
い
が
あ
り
す
ぎ。

市立・私
立の
幼
稚
園
を
つ
く
っ
て
欲
し
い。

キ
ッ
ズ
ル
ー
ム
を
増
や
し
て
欲
し
い。
子
ど
も
連
れ
で
お
茶
し
に
行
き
た
い。

課
外
教
室
の
場
を
増
や
し
て
欲
し
い。

保
育
園
を
増
や
し
て
ほ
し
い。

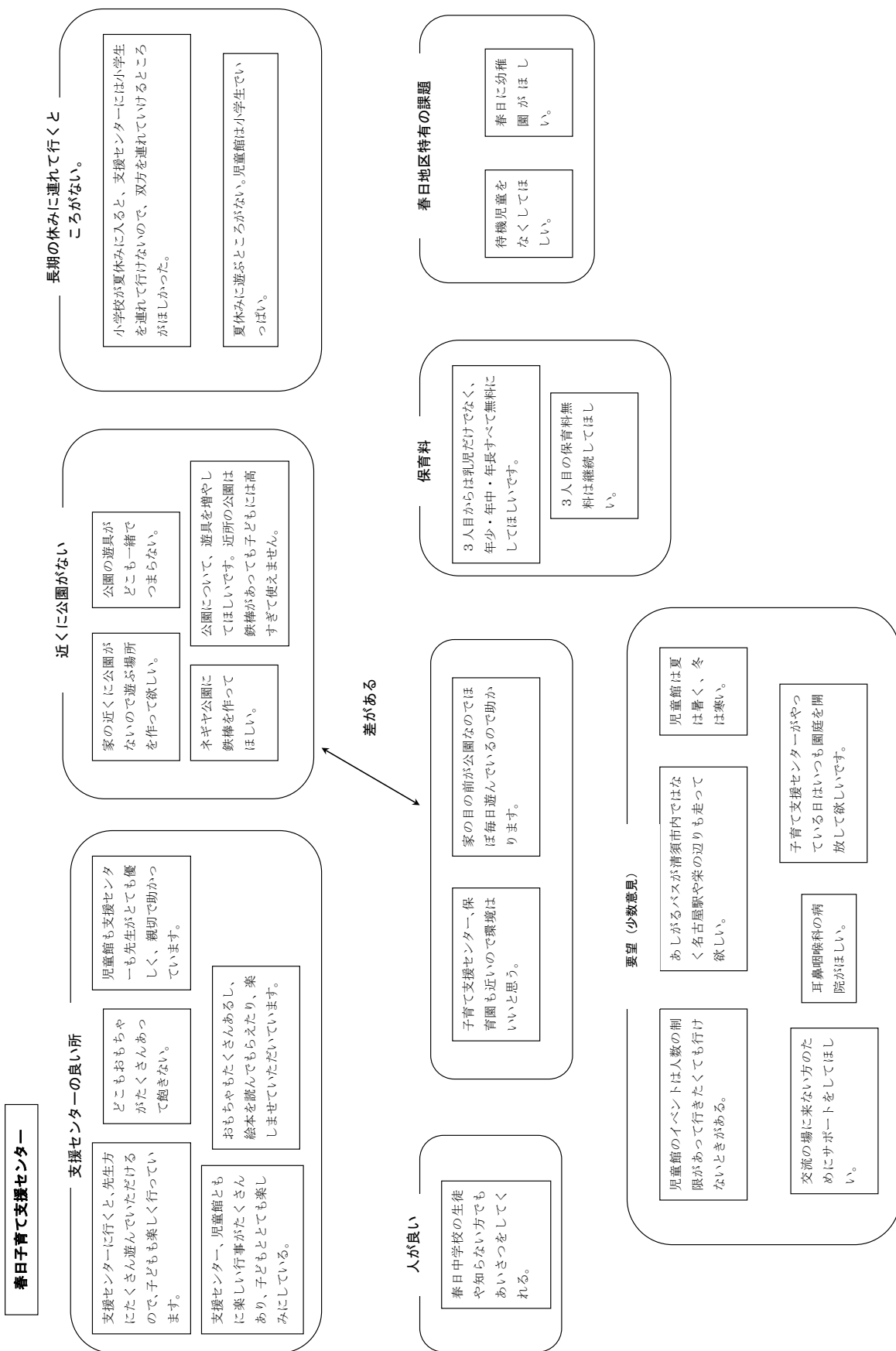
土
日
専
用
の
保
育
園

公園・遊び場

公
園
の
数
を
増
や
し
て
欲
し
い。

公園の管理
・遊具が古かったり、草が生えたまま
だったりしているところもある。
・トイレの設備

～春日子育て支援センター～



西枇杷島児童館

楽しいこと

ママになり今までとは違うママ友ができたこと。

児童館の活動や子育て支援センターが充実していて連れて行く場所がたくさんある。

公園・散歩・児童館でのコミュニケーション。

ママ友ができ、お話したり遊んだりできること。

公園と一緒に砂遊び
・ごっこ遊び
・ままごとでみんなの分を料理してくれたりする
・同年齢の子と走り回ったり姿を見ていると幸せになれる。

児童館の行事やイベントが内容がとてもよく、参加していて楽しいです。

公園がいろいろある。

公園・児童館・支援センター等が充実し、その場でコミュニケーションをとりママ友ができること。

悩み・辛いこと

公園で遊ばせていてトイレの設備が良くない所が多く困る。

雨の日や2人だけの日はイライラ。

新川児童館もよく利用しますがトイレが全て和式なので困ります。おもちゃの量や内容も児童館によって違いすぎると思う。

上の子、下の子の健診の時、1人でこなすのは大変なので、見てくれる人が会場にいると助かる。

雨の日に遊びに連れて行ける場所が少ない。

雨の日に遊べる場所を増やして欲しい。

福祉センター1階にあるような食事もできる子どもが遊べるスペースが市にもっと増えて欲しい。

・食事を思うように食べてくれない。
・立ち歩いてしまう。
・おやつを制限したいがうまくできない(ジュースも)
・寝かしつけ
・いたずらが多い

なかなか自分ひとりの時間が持てないため、ストレス発散方法がない。

・家以外のいやいや
・児童館でのイベント、買い物など
・幼稚園、保育園

～西枇杷島児童館～

要望

地域でやって欲しいこと
・年齢別のイベント
・情報を取り入れる場
・遊び場の確保
・散歩道など(工事が多い)

保育園・幼稚園を充実させて欲しい。

保育園・幼稚園を増やして欲しい。

古城小にもトワイライトが欲しい。

予防接種の料金をもう少し市中で負担して欲しい。

道路でベビーカーを押しづらいうところが多すぎる。

幼稚園を増やして欲しい。

小田井児童館

児童館がよい

児童館のイベントが毎日のようにやっている。

児童館がいろいろある所で遊ばせやすい。

子どもが2、3歳になって児童館という遊べる場所があってありがたい。

街がきれい

うちの周りに公園が多くて良い。

公園が多い。

公園の管理

公園で小学生がいて危ないと思うところがある。(遊具のあるところでボール遊びをするなど)

公園で大きい小学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんがいると、小さい子が遊具を使われて遊べなくなる。

屋内の公園があると良い。

公園にゴミが多い。

水遊びができる公園が欲しい。

公園の砂場に柵をつけて欲しい。

屋から集まれる場所

1歳未満の子どもの集まれる場所がもっとあると、子育ての悩みを交換できていると思う。

屋過ぎからも集まれる場所、遊び場が欲しい。

ボールプール等の大きな設備が欲しい。

～小田井児童館～

都市計画

ゴミ捨ての日が少ない。

資源を増やして欲しい。

あしがるバスの本数や時間が不便で利用したくてもできない。

幼児が使いやすいトイレを整備して欲しい。

歩道の整備をしてほしい。ベビーカーで通りづらい。

予防接種の補助金を増やして欲しい。

市役所の手続きが窓口まで行かないといけないうのが不便。

図書館が遠い。

小児科を増やして欲しい。

座敷のあるランチのできるお店(おもちゃがあるところ)が欲しい。

ハザードがあるの良い。(いらなくなった服を交換)

児童館の図書の出し期間をもっと伸ばして欲しい。

子連れでいけるランチ、お茶ができるお店があると良いです。

幼稚園

市で幼稚園・保育園を増やして欲しい。

第一幼稚園の駐車場が欲しい。

気軽に使える一時預かりを増やして欲しい。

幼稚園を増やして欲しい。

私立保育園の補助金を増やしてもらえたらうれしい。

星の宮児童センター

子どもを通していろいろな年のお母さんと知り合えること。

子どもたちがたくさん同じことをすると、一緒にできなくてその雰囲気だけでも味わえばプラスになると思うので助かります。

児童館の季節ごとの行事は母子ともに刺激となり、子どもの成長を感じられる機会になる。

星の宮児童館での絵本読み聞かせや七夕会、運動会、クリスマス会などのイベントに参加できるのが楽しい。

児童館に通うようになり、子どもも親も友達ができました。

子どもの成長は毎日発見がある。

初めて児童センターに行く時にすごく緊張したので、そのセンターの雰囲気はとても大切だと思ふ。星の宮児童センターは先生も親切でも行きやすいので今後もこの雰囲気を維持していただきたいです。子育てライフでずっと助けてもらっています。

路上駐車が多く、子どもの飛び出しなどが怖いです。

U F J 銀行のところの歩道橋が新しくなった時に横断歩道がなくなり不便になりました。スロープではベビーカーや自転車の時に通れないです。

～星の宮児童センター～

やってほしいこと

子連れ優待ゾーのようなものを作ってほしい。
美術館無料など。

あしがるバスの本数がもう少し多いと利用しやすいと思います。

健診の時間が午後だと子どもの昼寝とかぶるので午前中にして欲しい。

道端のタバコのポイ捨て（小さな子はそういうものが気になり触りたくなる）

児童館のイベントを増やしてほしい。

子どもの悩みを他のお母さんと話せる場が増えよう欲しい。

公園の遊具を増やしてほしい。

遊具のたくさんある広い公園ができるとうい。ピクニックができるような場所。

子ども連れで行けるお店(キッズスペース)も増えよう欲しい。

子連れ専用バスみたいなものを作って欲しい。

子どもと一緒に歩くようになって最近思うのは、犬や猫のフンが道にあつて気になります。子どもも歩くようになり、しりもちをつくし、いろいろ触っては口元に手を持っていくので注意しています。犬の散歩のマナー向上、野良猫のえさやり禁止の回覧板を刷ってほしい。また、地域でマナーが悪い方を監視してほしい。

星の宮駅の長い階段をベビーカーを持って昇るのが大変。エレベーターを作ってもらいたい。電車の本数増やしてほしい。